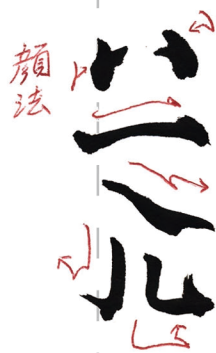




収筆もしかり止める



二段式ではねる



顔法

養眞には無為を尚とぶ
養眞は養性と同じ。その天性を涵養することである。孟子に、その心を存し、その性を養うと無為は何事もなさないこと（張協）

唐 顔真卿（七〇九〜七八五）
顔法の技法、倣書で書いてます。
顔真卿の楷書（健中告身帖）は、縦、横の線の太さ、はね、払いに特徴があります。雄大で重厚、向勢でどっしりとした字形です。



止めて上に持ち上げて
右へ払い
（蚕頭燕尾）



起筆、藏鋒
で入る

向勢

収筆も
しっかり止める



二段式ではねる